

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
寄生虫学	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	小林 浩二	
授 業 概 要						
<p>寄生虫検査における臨床検査技師の職責は、寄生虫を同定することにある。そのためには、感染者の症状や背景情報から、どのような寄生虫に感染しているかを推察する知識が必要である。その上で、虫卵、幼虫もしくは成虫体を検出し鑑別するための技術が要求される。この授業では、寄生虫の生活史を通して、感染経路、感染症状を学び、検体採取から同定までの検査の流れを重点的に学習する。また、治療や予防については各論にてそれぞれ補足的に知識をつける。</p>						
到 達 目 標						
<p>○総論 ①臨床検査における寄生虫検査の位置づけを理解できる。  ②蠕虫、原虫、衛生動物の分類ができる。  ③宿主との関係（相互関係、感染経路、生殖、免疫反応などの基礎）が理解できる。</p> <p>○各論 ①幼虫や成虫の形態的な特徴を理解できる。  ②虫卵の形態的な特徴を理解できる。  ③寄生虫の生活史について理解できる。  ④中間宿主、待機宿主や終宿主について理解できる。  ⑤感染源や感染経路を理解できる。  ⑥寄生虫がもたらす病害（感染症）について理解できる。  ⑦検査法の特徴を理解し、寄生虫を鑑別できる適切な検査法を選択できる。  ⑧適切な検体採取、検体保存について理解できる。  ⑨治療方法や治療薬について理解できる。  ⑩予防方法について理解できる。</p> <p>○衛生動物 ①衛生動物の形態的な特徴を理解できる。  ②衛生動物やそれが持つ病原体がもたらす疾患について理解できる。</p>						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	寄生虫（蠕虫・原虫について）について、宿主との関係、				小林 浩二	
2	蠕虫総論					
3-5	線虫：回虫、アニサキス、蟯虫、鉤虫、東洋毛様線虫、住血線虫、旋毛虫、糞線虫、糸状虫、他					
6-7	吸虫：住血吸虫類、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫、肺吸虫、他					
8-9	条虫：裂頭条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、縮小条虫、小形条虫、包虫、他					
10	原虫：原虫総論					
11-14	腸管寄生原虫：アメーバ、ランブル鞭毛虫、クリプトスポリジウム、イソスポーラ、サイクロスポーラ、他					
	血液組織寄生原虫：マラリア、トキソプラズマ、トリパノソーマ、他					
	泌尿器寄生原虫：膾トリコモナス					
15	衛生動物：ノミ類、ダニ類、シラミ類、他					
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄生虫鑑別アトラスを利用し、虫卵や幼虫の形態を確認しながら学習すると理解が深まる。</li> <li>・配布資料、補助教材などを効果的に利用し、予習・復習をしておくこと。</li> </ul>						
評 価 方 法						
<p>定期試験（70％）及び小テスト（30％）により評価する。（小テストは項目ごとに実施する。項目によっては小テストに代わり、課題提出による評価を行う場合がある。また、遅刻や欠席等で小テストを実施しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。また、再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。）</p>						
先 修 科 目						
教科書、参考書						
<p>[教科書]  ・最新臨床検査学講座医動物学（著者：平山謙二 出版：医歯薬出版株式会社）</p> <p>[参考書]  ・寄生虫鑑別アトラス（著者：佐伯英治 他 出版：Medical Science）  ・医動物学（著者：吉田幸雄 他 出版：南山堂）</p>						